

早稲田松代塾

わせだ
まつだい
じゅく

平成 24 年度受講生募集

一般市民を対象に開かれた学びの場として開講する「早稲田松代塾」。

下記の通り平成 24 年度の受講生を募集いたしますので、奮ってご応募ください。

『国際問題と日本の外交』

連続 5 回 10 講座
+ 追加 1 講座

講師 片岡 貞治 氏 早稲田大学教授、早稲田大学国際戦略研究所所長、博士（政治学）

何故、紛争（国家間紛争、国家内紛争）は起こるのか？国際関係論上の最大のテーマです。国際社会の様々な問題をその歴史的な背景を掘り下げて体系的に理解し、日本の対応や役割についてみていきます。

●日程：（開講時間は、午前の講義が午前 10 時 30 分～正午、午後の講義が午後 1 時 30 分～3 時）

第 17 回 24 年 4 月 15 日（日）午前「**日本を巡る国際情勢 2012**」午後「**世界債務危機**」

第 18 回 6 月 17 日（日）午前「**アラブの春**」午後「**アラブの春 2**」

第 19 回 12 月 9 日（日）午前「**アフリカ紛争問題**」午後「**アフリカ紛争問題 2**」

第 20 回 25 年 1 月 20 日（日）午前「**安全保障**」午後「**経済協力**」

第 21 回 3 月 31 日（日）午前「**日中関係**」午後「**日米関係**」

早稲田大学における講義：平成 25 年 4 月中の一日、早稲田大学において追加講義（1 講座）を行います

●会場：早稲田大学松代セミナーハウス（ほくほく線まつだい駅下車：詳細は受講生に連絡します）

●受講料：1 回 500 円（資料代） ●定員：先着 50 人

●申込み：住所、氏名、電話・FAX 番号を明記のうえ、FAX または郵便で

早稲田大学松代セミナーハウス（住所：〒942-1534 十日町市蒲生、FAX：025-597-2132）まで

●問合せ：松代早稲田協力会・木戸（TEL：045-316-2082）

【参考】これまでの「早稲田松代塾」

平成 21 年度『近代日本の思想と文化』（第 1 回～第 5 回） 講師：佐藤能丸氏 早稲田大学講師 博士（文学）

第 1 回「福澤諭吉」「大隈重信」 第 2 回「徳富蘇峰」「三宅雪嶺」 第 3 回「安部磯雄」「吉田東吾」
第 4 回「吉野作造」「古在豊子」 第 5 回「石橋湛山」「角田柳作」

平成 22 年度『私たちにとってアジアとは何か―歴史地理の観点から』（第 6 回～第 10 回）

講師：福井重雅氏 早稲田大学名誉教授 博士（文学）、赤坂恒明氏 早稲田大学講師 博士（文学）

第 6 回「アジアとヨーロッパ」「オリエンとオクシデント」 第 7 回「東洋と西洋」「アジアの範囲と境界」
第 8 回「アジアとヨーロッパの出会い」「アジアからの衝撃（1）」
第 9 回「アジアからの衝撃（2）」「同（3）」 第 10 回「アジアは存在するか」「歴史とは何か」

平成 23 年度『日本古代史の謎に迫る』（第 11 回～第 16 回） 講師：松尾光氏 早稲田大学講師 博士（史学）

第 11 回「神武東征神話と邪馬台国の進出」「仏教導入の背景にある大王家と蘇我氏の思惑」
第 12 回「聖徳太子」像を創ったのは誰だったのか？「茨田杉子にみる古代人の感覚」
第 13 回「大化改新はなかった」という説が消えた背景「大藤原京から平城京への遷都の理由」
第 14 回「元正女帝の即位の背景にある政界裏面の真相」「藤原仲麻呂の出世にみる官人の昇進制度」
第 15 回「淳仁天皇の後は誰なのか」「遣唐使は対等儀礼の国書を奉呈できたのか」
第 16 回「鑑真のもたらした戒律はなぜ尊ばれなかったのか」「天平文化から国風文化へ」



昨年度の講義風景 ▲

主催：松代早稲田協力会
協力：早稲田大学